

2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社エー・ピーホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久  
(コード番号：3175 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛  
(TEL. 03-6435-8440)

### 債務超過解消に向けての取り組み

当社は、本日公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「特別損失計上に関するお知らせ」に記載のとおり、特別損失 318 百万円を計上したことにより、当連結会計年度末(2025年3月期末)時点において50百万円の債務超過となっております。

つきましては、債務超過解消に向けた取り組みについて、以下の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 債務超過の原因について

当連結会計年度におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善や訪日外国人の増加などにより、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で、個人消費は物価高騰により伸び悩んでいる状況が見られると共に、ウクライナや中東情勢による地政学上のリスク、米国政策が及ぼす影響など、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費活動の回復が見られ、来店客数は増加しておりますが、原材料費・光熱費の高騰や継続的な採用難など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような情勢のもと、当社国内飲食事業では、以前より進めていたコスト削減などの構造改革の推進に加えて、訪日外国人客(インバウンド需要)が大幅に増加したことにより、5期ぶりに営業黒字(前年同期差374百万円)を達成いたしました。このような消費環境の変化に対応すると共に、事業拡大に向け、新規出店、業態変更、改装に積極的に取り組み、計14店舗を出店いたしました。

塚田農場小滝橋店、四十八漁場西新宿店をそれぞれ改装し、各ブランドの旗艦店と位置付け、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでおります。また、横浜駅直結の商業施設・横浜ポルタに、寿司・天ぷら・うなぎの3業態複合型店舗「江戸前横丁」をオープンいたしました。

当社連結子会社で運営する中食事業も宅配弁当やエキナカ、商業施設店舗での弁当販売が引き続き堅調であり当連結会計年度では過去最高の売上高と営業利益を達成いたしました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純損失については、業績不振の国内15店舗、香港4店舗の撤退及び減損を積極的に進めたため固定資産除却損や減損損失など特別損失が318百万発生しており計上しております。

2025年3月期連結会計年度における連結業績は、売上高は21,072百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は263百万円（前年同期は営業損失111百万円）、経常利益は253百万円（前年同期は経常損失74百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は36百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失452百万円）となりました。

## 2. 債務超過の解消に向けた基本方針について

当社は、現在の債務超過の状況を早期に解消するため、2025年3月31日に公表いたしました「子会社（孫会社）の異動を伴う株式の譲渡（売却）及び特別利益の計上並びに債権放棄に関するお知らせ」の通り、子会社の売却を予定しております。また、「3. 直近の業績及び今期の業績予想」でお示ししているとおり、新規出店を抑制するとともに、組織コンディションの整備を進め、既存店の収益向上を図る計画を策定していることから利益の計上を見込んでおり、2026年3月期第1四半期末までには債務超過を解消できる見込みです。

## 3. 直近期の業績及び今期の業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2024年3月期実績	20,598	△111	△74	△452
2025年3月期実績	21,072	263	253	△36
2026年3月期予想	20,000	480	380	650

以 上